

第3回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和4年6月13日(月)PM7:00~9:00

場 所 新城市役所4階会議室

出席者 委員26名 事務局4名

次第

1 会長あいさつ

2 報告

(1) 令和4年度地域自治区予算の進捗状況について

3 議事

(1) 令和5年度地域自治区予算の策定について

4 連絡事項

(1) 地域計画推進体制検討会の開催について

(2) 議会報告会・意見交換会について

1 会長あいさつ

・グループワークを行う体制で座っていただいた。お互いの顔を覚えて、性格もだんだん分かってきたかと思う。なるべく今日は、もう少し突っ込んだ話をお互いにしていただきたい。

2 報告

・令和4年度地域自治区予算(関係人口創出促進事業)の進捗状況について

3 議事

協議会の会議録署名

・定数30人のところ26人の出席があり会議は成立している。

・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

(1) 令和5年度地域自治区予算の策定について

(事務局説明) ・前回出た意見について市の担当課の取り組みや意向について

○主な意見

委 員 横断歩道の白線ラインは警察が管理しているが、わずかでも歩道をかき上げすると
なると、それは道路管理者の仕事になるので、警察と道路管理者両方の協議がある
ということをお聞きしたい。

会 長 今お話がいろいろあったが、皆さんが一生懸命考えていただいた中には、もう市が
やっていることが結構ある。それを踏まえて、我々がどういうふうに関わってい
るか、あるいはもっと参加者を増やすためにどうしたらいいかということも含めて検討
していただきたい。来年度とにかく何か1点か2点、これだけは最優先でやりたいと
いうことに絞り込んで話をしていただきたい。

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループにわかれ、令和5年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

1-7 新規事業

- ・高齢化が進んでおり、特に高齢の男性が家に引きこもる人が多いということで、そうした方が少しでも外に出るために、ウォーキングをしながら、スマホで花や桜などの写真を撮る。また、そのグループの中で撮った写真をラインで見せ合ったり、交換したりして交流を図れたりするような事業を進めていきたい。
- ・疾患をお持ちの方も多。家に寝たきりの方が、外に出てもらうためのきっかけとして進めていったらどうか。教育委員会や東郷体育振興会で進めているウォーキングイベントは、比較的身体が元気な方を対象とした健康づくりを目的としているので、今回の話はそうではなく、家に引きこもっている方が一歩でも外に出るための手段としてウォーキングとしたい。実際に歩き方やスマホでの写真の撮り方の指導を専門家に受けながら交流を図れるような事業を検討している。開催方法等は具体的にまだ検討できていない。

柱2 守ろう

2-3 AED普及推進事業

- ・すでに設置してある平井・大宮・竹広・川路・大海に、AEDを取り扱いができるよう講習会等を率先してやってもらいたいという願いを地域協議会から各区に出したらどうか。防災訓練だと人数も限られてくる。見ているだけであれば参加可能であると思うが、防災訓練とは別の機会に防災専門員の方が中心となって実施していただきたい。

2-4 地域安全灯設置費補助事業

- ・現在東郷では781以上の地域安全灯が設置されており、今後更新が必要になってくる。一斉には発生しないと思うが、壊れたときに対応できないかということだった。市の方では更新の想定をしていないということであったが、補助は永久的になってしまうので、期間か回数を設け、少しでも補助していただけるような形で取り組んでいただきたい。

2-13 交通安全対策事業

- ・少しでも交通事故が減るように、引き続き通学路の安全確保や整備等をしていただきたい。ハザードマップ等危険箇所を調べていただき、子どもたちが安心安全に通学できるようになればいい。また、各学校のスクールガードのボランティアさんに対して、引き続き防犯の資機材を市から配布していただければありがたい。
- ・横断歩道が立体的に見えるようにトリックアートを施したり着色したりする事業を、モデル的に東1ヶ所、西1ヶ所ずつなど交通量の多い所を実施したらどうか。グリーンベルトもいいが、マンネリ化し過ぎてしまっていて、運転手も慣れてしまっているので減速しない。時代に即してやってみるべき。
- ・地域協議会の提案で横断歩道の手旗を作ったが、まだまだ旗がない横断歩道がある。小学生が通る横断歩道についてはカバーされているが、休みの日も通るし高齢者も通るので、

バイパスや幹線沿いには全て付けてもらいたい。交通安全の啓発的な意味も含めて来年度予算として計上してもらいたい。

- ・子どもたちの制服が黒く、暗いところでは見えにくいので、制服を変えてもらいたいと思っている。色々な規制があると思うが、せめて明るい色で目立つ色、薄暗くてもわかるようなものにしてもらいたい。子どもたちの自転車、制服、かばん等に何か光るものを地域協議会から提供して付けてもらうようにしたらどうか。

柱3 育てよう

3-6 新規事業

- ・東郷地区も外国籍の方が多い。新城市全体の人口4万5000人のうち外国人は1000人ほどいる。在住外国人が増加しているけれども、私たちは彼らと接点を持つ機会は意外と少ないと気が付いた。今は海外旅行とかも行けないけれども、東郷地区で外国の方と交流する機会があれば、国際的な交流ができる若者を育てる機会となるのではないかな。あとは、東郷を故郷のように感じてくれるような外国人が少しでも増えて、東郷のことをインスタにあげたりなどされていくと、ひょっとしたら将来的なインバウンドも期待できるのではないかな。そのために何をやるのかということで、同じような体験を共有するとすごく距離が縮まるので、お互いの文化が交流できたらいい。中国、ベトナム、ペルー、ブラジルなど。来年度実施する計画を立てていく上で、情報がすごく少ないので、まず国際交流協会さんに相談に行って、どんな状況でどんな年齢層の方がいて等の情報を見てみないと対象者がわからないので、どんなイベントを組んでもいいかわからない。現状はコロナ禍だが、来年なら火起こしやバーベキューができたらいいいという意見も出た。せつかく東郷地区でも、自転車で行き交う中国の方がたくさんいたりとか、そことすれ違う小中学生がいたりとか、そんな中で少しでもお互いの交流ができるような機会を演出していくことができれば面白い。

柱4 学ぼう

4-6 新規事業

- ・もつくるへ来た観光客をどうやって学びや消費に引込んでいけるかというところで、本日事務局から可愛い地図を配ってもらったが、この地図は周遊1回の所要時間は3時間前後のコースとなっているので、もつくるにふらっと来た人たちを誘うには本格的すぎるかなというところを感じた。JRバスや山の湊号で来た方、もしくは自家用車で来た方が東郷地区を回り知ってもらえることのできるような、東郷地区の地図を作りたいという話を進めている。車で来た方にはどこに駐車場があつて、ここら辺言つてこうするとちょっと時間潰せるよとか、JRバスや山の湊号で来た場合はそんなに時間があるわけではないので、歩いて資料館あたりまで行って帰ってくると30分から1時間かかる。そのくらいの範囲内で楽しめるような地図ができたらいいなと考えている。ただ、その地図をどうする家康にくっつけたいなとは思いますが、来年1月から始まる番組なので、今年度事業として出来ないか、あるいはどうしたら来年度ちょっとでも早く作れるかなというところで思い悩んでいた。一応令和5年度予算になるがなるべく早く作りたいというところで時間がつぶれてしまった。具体的には、マップの道を決めるところから始め、食事処やお土産屋さんについては公募したらどうだとか話は出てきたが、とにかく行き着くところはどうやったら早く作れるかというところに終始した。

柱5 楽しもう

・要点としては、どうする家康関係からもつくる新城、総合公園というような大きな話が出た。どうする家康関連は設楽原関係の団体が専門的に活動されている。もつくる新城は営業主体として頑張ってみえる。総合公園もしかり。そこで何かをしようとする、そちらの関係と調整をかけていかないと、同じようなものが出来上がってしまう。だから、地域協議会だけで、何かしようと思っても、なかなかそちらの方々と話を詰めていかないといけない。つまり、こちらの希望をまとめてお願いするしかないのではないか。また、花火じゃないが、年に1回打ち上げて終わりでは何の意味もない。やはり継続性がないといけないと思う。なぜ継続性が必要かというと、地域自治区予算は税金なので、一発打ち上げて終わりでは、かけた費用の効果がないということ。やるとするならば、相当年数続けていけるようなことでない、楽しもうとしてはいけないのではないかと。ただ楽しんで終わりでは、地域自治区予算としての性格としてありえないと思う。次回もう一度よく考えていきたい。

4 連絡事項

(1) 地域計画推進体制検討会の開催について

- ・地域計画推進体制検討会の発足について、委員候補者のスケジュールを調整し、7月中旬に第1回目を開催していく。

(2) 議会報告会・意見交換会について

- ・東郷地域では7月28日に開催される。意見交換したいテーマがあれば連絡いただきたい。

【21:00 終了】